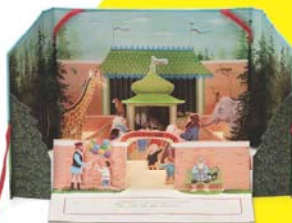


# MAZING STORY



令和5年度市川市文学ミュージアム企画展

## アメイジング・ストーリー しかけ絵本の世界展

2023 7 15 (土) → 9 3 (日)

- 開館時間：平日10時～19時30分、土日祝10時～18時(入館は閉館の30分前まで)
- 会場：市川市文学ミュージアム 企画展示室 ●休館日：月曜日(7月17日は開館)、7月18日、7月28日
- 観覧料：一般500円(400円)、65歳以上400円(300円)、高大生250円(200円)、中学生以下無料
- \*()内は25名以上の団体料金 \*障害者手帳をお持ちの方と付添の方1名無料
- 主催：市川市 ●協力：武蔵野美術大学美術館・図書館 ●撮影：佐治康生

市川市文学ミュージアム

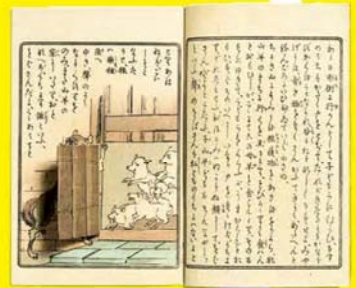
〒272-0015 市川市鬼高1丁目1番4号 市川市生涯学習センター(中央図書館)2階  
TEL: 047-320-3334 FAX: 047-320-3356 公式Webサイト: <https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html>





1

- ①『The pop-up Pinocchio』(1933)
- ②『The pop-up Puss in-Boots』(1934)
- ③『西洋昔噺 ハツ山羊』(1887)
- ④『Anatomie iconoclastique』(1879)
- ⑤『五子十童図』(幕末期)
- ⑥『Wonderland pictures』(1890[推定])
- ⑦『Internationaler Circus』(1887)



3



4



2



5

令和5年度  
市川市  
文学ミュージアム  
企画展

# アメイジング・ストーリー しかけ絵本の世界展 AMAZING STORY

本を広げると絵が飛び出す、引っ張ると動く、音が出る……自由な発想と遊び心が詰まった「しかけ絵本」。

18世紀にヨーロッパで誕生した紙をめくるだけのシンプルなしかけ絵本は、作家たちの工夫により、細かく凝ったしかけが詰め込まれ、ドールハウスやポップアップへと発展していきました。

本展では、しかけ絵本の展示とともに、その歴史や種類をご紹介します。

また、絵本の登場人物になりきって写真が撮れるフォトスポットもご用意しております。

ワクワク・ドキドキがあふれるしかけ絵本の世界をお楽しみください。



7



6

関連  
イベント

## とびだすおはなしをつくってみよう!

オリジナルのポップアップカードを作るイベントです

- 講師：宮本えつよし氏(絵本作家、イラストレーター)
- 「おぼけずかん」シリーズ、「キャベたまたんてい」シリーズのイラストを手がけるほか、全国各地でワークショップを開催
- 日時：8月20日(日)13時30分～15時(予定)

- 場所：生涯学習センター(中央図書館)3階第2研修室
- 定員：20名(小さなお子様は保護者の同伴も可)
- 申込：7月25日(火)10時より電話(047-320-3334)にて受付開始



- JR総武線：本八幡駅・下総中山駅 徒歩15分
- 都営新宿線：本八幡駅 徒歩20分
- 京成線：鬼越駅 徒歩10分
- 車：京葉道路京葉市川インター下車 5分
- \*駐車場はありますが、できるだけ公共交通機関をご利用ください
- \*本八幡駅よりコルトンバス(無料)もご利用いただけます



新型コロナウイルスの感染防止のため、内容に変更が生じる場合があります  
詳細はホームページ、ツイッターにてご確認ください